

令和5年度 デジタル田園都市推進事業住民説明会 質問及び回答

8/21(月) 津賀公民館 19人 参加

質問・意見等	回答
・通信状況が悪いエリアへの対処はありますか。	・町内全域をカバーすることは困難ですが、宅内の通信環境を確保できるよう、きびケーブルテレビのインターネットが利用しやすくなる補助制度を検討しています。
・デジ田事業はカタカナ表記が多く分かりにくいので、用語集を作っていただきたい。	・ご提案のとおり用語集を作成します。

8/22(火) 御北公民館 21人 参加

質問・意見等	回答
・各携帯電話の電波が届かないエリアの対応はどうか。	・宅内の通信環境の確保を目指し、補助制度を検討しています。
・スマホ等の端末ありきで進めているように感じるが、スマホ等が使えない人への対応はどうか。	・各公民館で開催しているスマホ教室への参加、高齢者を対象としたデジタル端末の使用機会創出を目的としたイベントの開催、スマホ等の無償貸付といった対応をとっています。

8/23(水) 円城公民館 21人 参加

質問・意見等	回答
・デジタル化を推進しているのであれば、全ての町職員が町民にスマホ等を教えられるレベルになるべきではないでしょうか。	・全ての町職員がスマホ等の使用方法を町民に教えられることは困難ですが、町民の皆様がデジタル端末を使用していただきたいので、スマホ教室のような場の提供を増やしていきたいと考えています。
・デジタル化を推進する以前に、町の部署間の連携をしっかりとしてほしい。	・何事も基本ができていないと応用はできないため、部署間の連携を取れるよう徹底します。
・マイナンバーカードのような情報漏洩のリスクはないのでしょうか。	・本町が導入しているデータ連基盤は国の基準（スマートシティセキュリティガイドライン）を満たしたものを導入しているので、情報漏洩のリスクはないと認識しています。
・マイナンバーカードは病院によっては使えないところがあるが、町としてどう受け止めていますか。	・病院によってマイナンバーカードの導入に差があり、全国的に過渡期であると認識しています。
・きびアプリの買い物サービスにおける商品について、配達ドライバー不足による配送料の値上げの影響を受けますか。	・町内限定の配送については、配送料の値上げはないと想定していますが、物価高騰による値上げは可能性があると考えています。

・実装済みのマイクロEVは今後どこを目指していくのか。	・現状のものでは改良しないとけないと考えています。将来的には、自宅からバス停までをマイクロEVで補完していき、最終目標は公道を自動運転化することを考えています。
-----------------------------	--

8/24(木) 上竹荘公民館 18人 参加

質問・意見等	回答
・へそ8バスの乗車率及び実施期間を教えてください。	・へそ8バスは、令和3年10月から利用者の利便性向上に努めながら実証運行を続けています。令和3年10月から令和5年7月までの日平均乗車率は9.0人/日です。
・「エンゲージメント・コミュニティの創生」にLLPの記載があるが、LLPの中に岡山大学が入っていないのはなぜですか。	・岡山大学は、国立大学法人という性質上LLPには加入できませんが、当町とは包括連携協定を締結し、健康・医療分野で連携しています。
・町内全域に光回線は行き届いていますか。	・令和3年度末で町内全域に光回線（きびケーブルテレビ）の敷設が完了しています。
・スマホ等の受信エリアを拡充するよう、各携帯電話会社へ要望してほしい。	・各携帯電話会社への要望と同時に、自宅内の通信環境の確保を目指し、補助制度を検討しています。
・事業の計画が示されていないので、例えば令和6年度以降の計画を示してほしい。	・国の交付金は単年度の申請になりますが、令和5年度中に令和6年度から令和10年度を計画期間とした「吉備中央町デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定し、公表する予定です。
・令和4年度のデジ田交付金の国の補助率を教えてください。	・「交通DX」及び「鳥獣対策DX」はTYPE1という分類に該当し、補助率は1/2です。「誰一人取り残さないエンゲージメント・コミュニティの創生」はTYPE3という分類に該当し、補助率は2/3です。TYPE1及びTYPE3とも町負担分の8割は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が充当されています。
・令和4年度の総事業費を教えてください。	・交通DX：約6,000万円、鳥獣対策DX：約5,400万円、誰一人取り残さないエンゲージメント・コミュニティの創生：約36,800万円です。総事業費は、48,200万円です。
・マイクロEVはほとんど使われていないと感じています。税金を無駄遣いしないでほしい。	・マイクロEVは現時点では完成形ではありません。町民ニーズを取り入れながら、事業者の努力により改良を重ねていきたいと考えています。
・ランニングコストはどのくらいかかるのか、開示してほしい。	・現在、年度途中ということもありランニングコストも固まっておりませんので、決算時には公表させていただきます。
・契約方法を教えてください。	・公募型のプロポーザル方式で事業者を選定しています。

<p>・きびアプリのダウンロードは可能ですか。ダウンロード用のQRコードを公表すれば利用者の増加につながるのではないのでしょうか。</p>	<p>・現在、ダウンロードは個別対応で行っています。QRコードは多数の方にダウンロードしていただくには最も有効な手段ですが、まずは高齢者を中心にダウンロードを行っている状況です。ダウンロード数及びアプリの改良状況を見極めながら、今年度中にはQRコードを公表していきたいと考えています。</p>
---	--

8/28(月) 豊野公民館 18人 参加

質問・意見等	回答
<p>・住民説明会は夜間だけでなく昼間も開催してほしい。</p>	<p>・現在、老人会やサロンで要望があれば昼間にも説明に伺っています。説明の要望があれば企画課へ連絡してください。</p>
<p>・要望があれば説明に来るというのではなく、町主導で自治会単位で説明に来ていただきたい。</p>	<p>・今回のように小学校地区単位の説明会は企画課主導で実施しますが、それより小さい単位での町主導による説明は町職員数的にも困難なので、要望があれば対応するという形をとらせていただきます。</p>
<p>・デジタルに不慣れな方にも理解でき、利用しやすいようにしてほしい。</p>	<p>・既存のスマホ教室に加え、きびアプリダウンロード会を実施する等、スマホの操作方法の機会創出を図っていきたく考えています。</p>
<p>・事業の全体像が分かりにくい。目指すところはどこでしょうか。</p>	<p>・本日の説明内容が全てではありません。今後も財源と優先順位を見比べながら、可能な限りデジタル化を推進し町民の利便性向上とwell-being（心身ともに健康で幸福な状態を表す指標）向上に務めていきたく考えています。</p>
<p>・へそ8バスは町内巡回ですが、町外へ出る支援や施策も必要ではないのでしょうか。</p>	<p>・現状は町内巡回バスという形で運行していますが、将来的には岡山医療センター線のように町外へ移動できる仕組みを構築していきたいと考えています。</p>

8/29(火) 下竹荘公民館 11人 参加

質問・意見等	回答
<p>質問・意見等なし</p>	

8/30(水) 吉川公民館 14人 参加

質問・意見等	回答
<p>・通信状況が悪いので、室内に居ても繋がらない場合がある。</p>	<p>・他地区でも同様の要望を多くいただいていますので、宅内の通信環境改善の補助制度等を検討しています。</p>

・説明会の開催時期が遅かったと感じています。説明会に来れない方のためにも広報紙等で情報発信が必要であり、デジ田事業の経過についても広報紙等で報告してほしい。	・令和4年度は健康特区及び交付金申請手続き等の対応に追われる中で、説明会の開催が遅れてしまったことは反省しています。今回の説明会の資料等は全て町公式ホームページに掲載予定ですし、町公式YouTubeに説明動画も掲載する予定です。今後の事業経過についても広報紙等で報告することを検討しています。
・同じ健康特区に指定されている加賀市、茅野市の進捗状況を教えてください。仮に吉備中央町が他の2市と比較して遅れているならその理由を教えてください。	・茅野市は看護師の役割拡大、加賀市は医療版情報銀行、当町は救急救命士の役割拡大を主に進めています。当該2市に遅れをとっているという認識はありません。
・デジ田事業の体制を教えてください。失敗は許されない状況下で、職員が兼務状態では成功できないと思っています。また、議会等とも知恵を出し合って協力してほしい。	・今年度からデジタル事業推進室を設け、また岡山県からの出向職員が1名専任として配属されました。さらに各課横断のプロジェクトチームを作り、事業の推進力を向上させています。町、議会とも協力し合いながら進めていきたいと考えています。
・DX等専門用語の説明が必要だと思います。	・専門用語については、用語集を作成し周知させていただきます。
・説明資料にペットの記載がありません。ペットも家族の一員だと認識しています。	・防災における避難所にもペットに関する規定があるように、デジ田事業においてペットの分野に関わることがあれば追加していきたいと考えています。
・住民説明会の参加人数が少ないと感じますが、その原因は何でしょうか。	・本事業における関心度が低いことが原因だと認識しています。特に、若年層は我が事として捉えづらいと思います。町民のニーズを落とし込み、魅力的なコンテンツとしつつ参加者を増やしていきたいと考えています。
・吉備中央町インクルーシブ・スクエアが農業振興センターに設置されていますが、これは仮設でしょうか。	・仮設であり、今後移動する可能性もあります。
・3つの交付金事業費を教えてください。	・交通DX：約6,000万円、鳥獣対策DX：約5,400万円、誰一人取り残さないエンゲージメント・コミュニティの創生：約36,800万円です。総事業費は、48,200万円です。
・デジ田事業を推進するのも良いが、道路の修繕等、基礎的な行政サービスも引き続き充実させてほしい。	・道路の修繕等もご要望がありましたら財源を見ながら行っていきます。今後も住みよい町づくりを目指していきます。
・デジ田事業によって移住者は増えていますか。	・人口の増加に直接的な要素はありませんが、デジ田事業の相乗効果として、視察等が増加しており、間接的な要素としての関係人口は増えています。

8/31(木) 大和公民館 16人 参加

質問・意見等	回答
・通信環境が悪く自宅にいてもインターネット利用ができない場合があります。その対策はどうするのか。	・他地区でも通信環境の改善要望が多いので、まずは宅内でスムーズにインターネットが利用できることから改善していきたい。

9/4(月) きびプラザ 45人 参加

質問・意見等	回答
<p>・auが衛星通信事業者と業務提携したことにより、中山間地域等の通信環境が脆弱なエリアでも繋がるのが期待できる。町としても活用していただきたい。</p>	<p>・2024年からのサービス開始ということなので、状況を注視していきつつ、町として活用するメリットが大きければ導入について前向きに検討していきたいと考えています。</p>
<p>・国はオーガニックビレッジの支援を行っています。町においてもデジタルを活用した有機農業を行ってはどうでしょうか。</p>	<p>・オーガニックビレッジについて、現在具体的な構想は描いていませんが、町民ニーズが高まれば検討を始めたいと考えています。</p>
<p>・ドローンをより一層鳥獣害対策に活用してほしい。</p>	<p>・ドローンの活用は全国的に広まっているので、成功事例を参考に導入を推進していきたいと考えています。</p>
<p>・ドローンは北海道のように広い地域なら有効だが、吉備中央町のような中山間地域では活用しにくい。</p>	<p>・貴重なご意見として頂戴いたしました。本事業は地方の「不便・不安・不利」の3つの「不」を解消し、全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会を目指すという「デジタル田園都市国家構想」を推進する施策の一つでもあります。当町の事業は、現状では全ての課題を解決できておりませんが、デジタル化を進めつつ当町の課題を一つずつ解決し、魅力あるまちづくりを推進していく考えです。</p>
<p>・マイクロEVは、大型車両が通行するような一般道では危険すぎると思います。</p>	
<p>・吉備中央町は65歳以上の人口が県内一になってしまい、これは若者に魅力を感じてもらえていないと理解しています。若者の人口を増やしていく施策をしないとイケないと思います。</p>	
<p>・災害時は停電等の影響もありネットワークが使えません。デジタル化を進める前にやらなければならないことがあると思います。</p>	
<p>・エコー検査が実現できるようになって、何人の命が助かるのか分からない。町民から直接意見を聞いていないから町民ニーズとずれると思います。</p>	
<p>・町に対しての要望活動は、きびアプリ等のサービスに代替されるのでしょうか。</p>	<p>・きびアプリの困りごと相談機能は町民の困りごと解決のツールなので、自治会としての要望活動は引き続き自治会からの「要望書」という形でお願いします。</p>
<p>・エコー検査等の取り組みは医療従事者からすれば余計に手間が増えると思いますがどのようなお考えですか。</p>	<p>・エコー検査自体の作業としては手間が増えますが、その取り組みが医療従事者の手間を総合的に省力できるという評価を医療従事者からいただいています。</p>
<p>・吉備リハと岡大病院とのつながりはどうなるのでしょうか。</p>	<p>・今年度、吉備リハに岡大病院から内科医を派遣していただきました。また、岡大病院に通院している患者を対象として、吉備リハで遠隔診療の実現を目指しています。</p>
<p>・訪問医療等の取り組みは実施しないのでしょうか。</p>	<p>・デジタル田園健康特区として指定を受けている長野県茅野市では看護師の役割拡大を目指しています。茅野市の取り組みを参考にしながら当町も導入できる部分があれば検討していきます。</p>
<p>・サービスの利用により得られたデータの分析等は官民のどちらが行いますか。</p>	<p>・サービス利用者のデータについては、町、民間事業者、両方で分析等を行い、サービスの利便性向上に反映していきます。</p>

<p>・本事業に町職員の意見は反映されていますか。</p>	<p>・もともとスーパーシティ提案時から町職員で構成されたプロジェクトチームを形成し、どのようなサービスが必要かを考えてきました。そこに民間事業者の有するサービスを組み合わせています。</p>
<p>・鳥獣対策DXプロジェクトに期待していたが、山林のことを理解していない人が作った事業に見えてしまいます。真に田畑を守ろうとしてくれる人を増やしてほしい。</p>	<p>・本プロジェクトは、有害鳥獣対策を行う人の作業省力化も目的の一つに設定しています。プロジェクトを推進することで、猟友会駆除班等の会員数の増加・確保も図っていきます。</p>
<p>・認知症のように支援を要する方に対して、デジ田事業をどのように説明していけますか。</p>	<p>・認知症の方等への説明については、専門的知識を有する福祉部局と連携して行っていきたいと考えています。</p>
<p>・本事業の救急の取り組みにおいて、救急車に医師は同乗しますか。</p>	<p>・医師の働き方改革が叫ばれている中、医師の同乗は不可能と考えています。あくまでも医師の指示のもとに救急救命士によるエコー検査を実現し、医療機関がいち早く対応できる環境を整備していきたいと考えています。</p>

総参加者数        183人  
平均参加者数     20人